

# 岡山労働局第13次労働災害防止推進計画

## はじめに

人の生命と健康はかけがえのないものであり、いかなる社会、経済情勢であっても、働くことで生命が脅かされたり、健康が損なわれたりするようなことは、本来あってはならない。

国は、これまで12次にわたって「労働災害防止計画」を策定し、関係業界、専門家などと協力しながら、対策に取り組んできたところであるが、労働災害をさらに減らし、働き方改革実行計画を踏まえ、誰もが安心して健康に働くことができる社会を実現するため、2018度を初年度として、5年間にわたり国が重点的に取り組む事項を定めた新たな「労働災害防止計画」を策定したところである。

当該計画のもと岡山県内における一層の労働災害防止と労働者の健康確保を図るため、本計画を策定するものである。

## 1 計画期間

2018年度から2022年度までの5か年間とする。

## 2 計画の目標と計画の評価・見直し

### (1) 計画の目標

誰もが安心して健康に働くことができる社会の実現に向け、以下の目標を2018年から2022年までの計画期間(以下、単に「計画期間」と呼ぶ。)中に達成することを目指す。

死亡災害の撲滅を目指し、2013年から2017年までの間(以下、単に「前計画期間」と呼ぶ。)と比較し、計画期間の労働災害による死亡者の数を15%以上減少させ、2022年までに13人以下とする。

前計画期間と比較し、計画期間の休業4日以上死傷者数(以下、単に「死傷者数」と呼ぶ。)を5%以上減少させ、2022年までに1800人以下とする。

### 重点とする業種の目標

- ・ 建設業において、前計画期間に比べ、計画期間中の労働災害による死亡災害を15%以上減少させる。目標達成に向け、墜落・転落災

害、崩壊・倒壊災害、建設機械等災害を15%以上減少させる。

- ・ 製造業において、計画期間中の労働災害による死亡災害を15%以上減少させる。目標達成に向け、動力機械による労働災害を15%以上減少させる。
- ・ 林業において、計画期間中の労働災害による死亡災害を15%以上減少させる。目標達成に向け、計画期間中の伐木作業における労働災害を15%以上減少させる。
- ・ 労働災害増加傾向にある  
道路貨物運送業、小売業、飲食店について、期間中の労働災害を5%以上減少させ、  
特に労働者数が大幅増加している社会福祉施設の労働災害は期間中に減少させる。

規模50人以上の事業場について、ストレスチェック結果を集団分析する事業場を90%以上とし、集団分析結果の活用を推進する。

### 3 産業構造の変化と労働災害等の現状

#### (1) 産業構造等

岡山県内における雇用情勢は、全国でも有数の高水準の有効求人倍率が続いており、専門職をはじめ労働者の不足状態が続いている。

そのような中、労働者数は、社会福祉施設などの保健衛生業で大幅な増加、小売業などの商業、飲食店、道路貨物運送業で増加の傾向にあり、県内の労働者も増加の傾向にある。労働者数の増加は全国における業種別労働者数の増加と同様の傾向となっている。

一方で、工業的業種の労働者数が減少し、第三次産業などでは労働者数は増加と、第三次産業の事業場などへの労働者の流動が認められる。

また、製造業において、全体の労働者数は微減の状況にあるが、繊維産業、電気機械器具製造業などで労働者数は減少、食料品製造業、鉄鋼業・金属製品製造業、化学工業などでは労働者数は増加しており、その業種間又は企業間で隔たりが認められる。

#### (2) 労働災害の現状

リーマンショックの影響などの要因で著しい増減はあるものの、岡山県内における労働災害による休業4日以上死傷者数、死亡者数は、いずれも長期的には緩やかな減少傾向にあったところである。

しかし、労働災害による死傷者数は平成 29 年大幅に増加し、平成 30 年に入ってもなお増加傾向が続いている。

全国において、平成 28 年、29 年と労働災害による死傷者数が連続で増加しており、また、平成 30 年に入っても大幅増加となっており、この点も踏まえると、岡山県内において労働災害は平成 28 年を境に、一時増加に転じていると推定され、誠に憂慮すべき状況にある。

労働災害増加は、業種では、社会福祉施設、小売業、道路貨物運送業など労働者数が増加している業種で、また、特に平成 29 年以降は、経験年数 5 年未満の未熟練労働者、70 歳以上の高年齢労働者、派遣労働者で認められる。

一方、労働災害で亡くなった労働者は、平成 24 年、25 年と一時急増し、また、平成 29 年は前年から 5 人増加の 19 人となっているものの、全般的にみると、平成 21 年以降ほぼ横ばい状況にあり、死亡災害の撲滅に向けなお一層の取組が求められる。

なお、死亡災害は、建設業、製造業、道路貨物運送業、商業の順に多く発生しており、また、労働者数を勘案すると、林業における発生確率が非常に高い状況にある。

建設業、製造業、林業は業種特有の作業形態に起因する死亡災害が、道路貨物運送業、商業においては交通死亡災害が多くを占めているのが特徴である。

### (3) 労働者の健康確保にかかる現状

岡山県内における定期健康診断における有所見率は、平成 19 年以降 50% を超え増加傾向にあり、「血圧・肝機能・血中脂質・血糖」など、過労死あるいは生活習慣病のリスクファクターとなる検査項目の有所見率が高い状況にある。

岡山県内において、過重労働を要因とする脳・心臓疾患に関する労災認定事案は毎年発生しており、過労死等ゼロ緊急対策の推進は喫緊の課題となっている。

また、仕事や職業生活などに強い不安やストレスを感じる労働者が多く存在していることから、第 12 次労働災害防止推進計画（以下、12 次防という）において「メンタルヘルス推進担当者を選任し、メンタルヘルス対策に取り組むこと」を目標設定し、取り組んだ結果、100 人以上の事業場においては、選任率に関する数値目標を達成したところである。しかし、全国でメンタルヘルス対策に取り組んでいる事業場の割合は 6 割にも満たないなど、今後におけるその取組が課題となっている。ストレスチェックの定着とその集団分析の実施、集団分析結果の活用をはじめ、メンタルヘルス対策の

推進に取り組む必要がある。

労働者の治療と職業生活の両立に関し、岡山県地域両立支援推進チームを設置し、リーフレットの作成、セミナーの開催などを行ったところであるが、企業における関心はまだ低く、関係団体との連携を図り、ガイドラインの周知、企業内の環境整備に向けた取り組みが必要である。

#### 4 業種ごとの具体的取組

##### (1) 建設業

###### 墜落・転落災害防止対策の推進

12次防の期間中発生した建設業の死亡災害27件中、墜落・転落災害が10件を占めること、平成29年の死傷災害においても墜落・転落災害が4割弱を占めることから、法に適合した足場の設置を徹底するとともに、「より安全で快適な足場」の設置を推進する。高所作業時における墜落防止用保護具については、原則としてフルハーネス型とし、墜落時の落下距離に応じた適切な保護具の使用と、親綱の適正な設置の徹底を図る。

###### 建設機械等による災害防止対策の実施

建設用機械（クレーンを含む）が起因物となる労働災害は、死傷災害、死亡災害とも増加している。

特に、12次防の期間中に建設機械が起因物となった死亡災害は8件と建設業における死亡災害の3割を占め、重篤な災害に至りやすい傾向にある。建設機械が起因物となる労働災害防止に向け、作業計画の作成及び計画に基づく作業の実施、機械の運転従事者、周辺作業者に対する安全衛生教育の実施について徹底を図る。

###### 崩壊・倒壊による災害防止対策の実施

山岳トンネル工事の切羽における肌落ち災害防止対策に係るガイドライン及び斜面崩壊による労働災害の防止対策に関するガイドラインの周知、徹底を図る。

###### 建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する基本的な計画を踏まえた設計の普及

請負契約における安全衛生経費の適切な積算及び確実な支払いに関する施策を周知するとともに、施工段階の安全衛生に配慮した設計の普及、中小建設業者の安全衛生管理能力の向上に取り組む。

###### 適正な工事発注と統括安全衛生管理体制の構築と職務遂行の徹底

安全な建設工事の実施にあっては、適正な工事発注と統括安全衛生管理体制の構築が重要なことから、余裕のある工期設定や、安全衛生経費の適切な積算等を促すとともに、施工事業者に対しては、適切に統括管理の職

務を遂行するよう指導、徹底を図る。

#### 解体工事における労働災害の防止対策

鉄筋コンクリートや鉄骨の建築物、橋梁等の解体工事が増加することが見込まれることから、解体工事における安全な作業計画の策定と、作業管理の徹底を図る。

### (2) 製造業

#### 機械設備による災害防止対策

12次防期間中、製造業の事業場では21件の死亡災害が発生しており、死亡災害の2割余りを占めている。動力機械、物上げ装置・運搬機械にはさまれる、激突される災害で12名の労働者が死亡しており、重篤な労働災害防止のためにはこれら機械などによる災害防止対策を推進する必要がある。また、複数の死亡災害が発生している鉄鋼業、機械器具製造業、輸送用機械器具製造業で合計13件、6割余りの死亡災害が発生している。

機械設備に起因する労働災害を防止するため、危険性の高い機械設備の本質安全化の推進、残留リスクなどを踏まえた機械設備を使用する作業に対するリスクアセスメントの実施等を推進する。

また、機械設備について、清掃・点検・修理等作業を行う場合の運転の停止措置の徹底、点検整備体制の確立及び非定常作業を含む作業標準の作成等を推進する。

#### 人材の育成

製造業においては、経験年数の浅い労働者における機械等によるはさまれ等の労働災害、派遣労働者の労働災害が増加するなど、人材育成、現場を指揮する職長の育成などが必要である。

このため、雇入時の教育、作業転換時の教育、能力向上に向けた継続的な教育、各管理者の職制に応じた職務の遂行について推進する。

また、12次防より定着を図っている安全点検の日を活用し、作業行動も含めた点検を推進する。

なお、食料品製造業においては、労働者数、労働災害とも増加していることから、食品加工機械の安全な使用方法等を浸透させるため、職長に対する教育の実施を推進する。

### (3) 林業

#### 安全な伐倒作業、かかり木の処理作業の普及・定着

12次防期間中の死亡災害3件中2件が、伐倒作業に関係したものであることから、期間中に予定されている労働安全衛生規則の改正を踏まえ、安全な伐倒方法やかかり木処理の方法の普及、周知徹底に取り組むとともに

に、安全教育の充実等必要な安全対策の充実強化に森林管理署や関係団体と連携し、伐木等作業現場での労働災害の防止対策の充実を図る。

#### 防護衣着用の徹底

期間中に予定されている労働安全衛生規則の改正を踏まえ、下肢を保護する防護衣の着用の徹底について森林管理署や関係団体と連携して取り組む。

### (4) 陸上貨物運送業

#### 荷役作業の安全対策ガイドラインに基づく基本的安全対策の徹底

陸上貨物運送事業における労働災害の8割弱が荷役作業時に発生していることから、陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドラインに基づき、陸上貨物運送事業労働災害防止協会と連携し、作業者に対する安全衛生教育の徹底を図る

#### 荷主事業者への協力依頼

陸運事務所等と連携するほか、事業者団体等を通じ、荷主事業者に対し、長時間の荷待ち時間の削減や荷役施設・設備の改善、荷役作業の安全担当者の配置等について周知を図る。

### (5) 第三次産業（小売業、社会福祉施設、飲食店）

#### 本社・本部等による事業場に対する安全指導・援助の推進

店舗・施設を複数運営している企業の本社・本部を対象に、企業単位の指導を重点的に実施し、「働く人に安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」の周知を図る。

特に、社会福祉施設においては、就労者の増加以上に労働災害が増加していることから、転倒災害、腰痛防止を重点に労働災害防止の取組を一層推進する。

#### 安全担当者選任等の安全管理体制の整備

安全管理体制が確立していない事業場が多いことから、当該業種における安全推進者の配置等に係るガイドラインに基づき、安全推進者等の選任及び安全管理体制の整備を推進する。

#### 危険の見える化、KY活動の普及

50歳以上の高年齢労働者及び経験年数3年未満の未熟練労働者の労働災害の割合が高いことを踏まえ、雇入れ時の安全衛生教育の徹底を図るとともに、「危険の見える化」、リスクアセスメントによる設備改善、KY活動の実施について推進する。

## 5 業種横断的取組

## (1) 過労死の防止等の健康確保対策

### 企業における健康確保措置の推進

法定の健康診断やその結果を踏まえた就業上の措置や、労働者の健康管理に関して、経営トップの取組方針の設定・表明等、企業の積極的な取組を推進するとともに、労働者自らも健康の保持増進に努めるよう推進する。

### 産業医・産業保健機能の重要性、健康相談等の実施の推進

- (ア) 事業場において、過重な長時間労働やメンタルヘルス不調等により過労死等のリスクが高い状況にある労働者を見逃さないため、医師による面接指導や産業医・産業保健スタッフによる健康相談等が確実に実施されるよう、労働者の健康管理を推進する。
- (イ) 衛生委員会等の活動の活性化を図るため、産業医に衛生委員会等の参加を促すなど、必要に応じて、衛生委員会等の審議事項等について見直しを図るよう推進する。

## (2) 過重労働による健康障害防止対策の推進

時間外労働による過重労働の防止を図るとともに、過重な労働により脳・心臓疾患等の発症のリスクが高い状況にある労働者を見逃さないため、長時間労働者に対する、医師による面接指導の対象者の見直しや労働時間の客観的な把握等、労働者の健康管理を推進する。

## (3) メンタルヘルス対策

### ストレスチェックの確実な実施と集団分析の実施・活用

- (ア) 平成28年に岡山県でストレスチェックを実施した事業場は83.5%であった。その内、ストレスチェックを受けた者は78.7%、面接指導を受けた者は0.4%、集団分析を行った集団は70.1%であった。
- (イ) ストレスチェックに係る目標を達成させるため、自主点検を行い、ストレスチェックの実施、集団分析の実施に加え、集団分析結果を活用した職場環境改善の取組、心の健康づくり計画に係るメンタルヘルス推進担当者の選任及びその職務の実施など、自主的活動を推進する。

### 小規模事業場へのストレスチェック制度の普及

小規模事業場に対しストレスチェック助成金、小規模事業場産業医活動助成金等の周知を図るなどにより、ストレスチェック実施の普及を促進する。

### 労働者の心の健康の保持増進のための指針の推進

労働者の心の健康の保持増進のための指針に基づく取組を推進するとともに、岡山産業保健総合支援センターが支援する心の健康づくり計画

助成金・職場環境改善計画助成金等の活用、また、事業場外資源を含めた相談窓口の設置を推進することにより、労働者が安心してメンタルヘルス等の相談を受けられる環境の整備を促進する。

(4) 病気の治療と職業生活の両立

岡山県地域両立支援推進チームの活動を中心に、治療と職業生活の両立支援のためのガイドラインの周知を図るとともに、企業、医療機関等の関係者との連携を推進する。また、企業の意識改革及び支援体制の整備を促進する。両立支援に係る相談支援体制の充実を図る。

(5) 化学物質による健康障害防止対策

ラベル表示、安全データシート(SDS)の交付の徹底と確認、リスクアセスメント実施の徹底

「岡山労働局化学物質対策推進計画」に基づき、取組を推進する。

化学物質を取り扱う労働者への安全衛生教育の充実

雇入れ時等の安全衛生教育において、化学物質のラベル表示や SDS による情報について理解を深めることができるよう、また、保護具の正しい着用方法等の具体的な内容を習得できるよう周知を図る。

(6) 石綿による健康障害防止対策

「石綿ばく露防止対策の推進について」に基づき、各種リーフレットを効果的に活用するなどにより、石綿による健康障害防止対策を推進する。

(7) 受動喫煙防止対策

受動喫煙の健康への有害性に関する理解を図るための啓発や事業者に対する効果的な支援の実施により、事業者及び事業場の実情に応じた禁煙、空間分煙等の受動喫煙防止対策を普及・促進する。

(8) 粉じん障害防止対策

粉じん障害防止規則その他関係法令、本省が策定した第9次粉じん障害防止総合対策に基づき、粉じんによる健康障害を防止するための自主的取組を推進する。また、岡山産業保健総合支援センターと連携し、電動ファン付き呼吸用保護具の普及促進に取り組む。

(9) 転倒災害防止対策

「STOP! 転倒災害」プロジェクトの普及促進を行い、4S、危険の見える化、防滑靴の着用等の取組を推進する。

(10) その他の対策

腰痛の予防



安全衛生教育の実施、身体的負担軽減のための介護機器の導入を促進する。また、社会福祉施設等について、腰痛防止対策セミナー、講習会等への参加の勧奨を図る。

熱中症

(ア) 日本工業規格（JIS）に適合した WBGT 値測定器の普及と WBGT 値の測定結果を踏まえた措置を推進する。

(イ) 「STOP!熱中症クールワークキャンペーン」の周知を図る。

#### (11) 交通労働災害防止のためのガイドラインに基づく措置の推進

交通労働災害については、商業（主に新聞販売業）、陸上貨物運送業、通信業で多数発生している。これらの業種では、運行経路、取扱い物等が限られている場合も多く、交通労働災害防止のためのガイドラインに基づく措置の徹底を呼び掛けるとともに、過労運転防止についても徹底を図る。

### 6 労働災害防止団体等との連携、中小規模事業場への支援

1 2 次防において設置した災害防止対策推進会議などの活用を図り、災害防止団体などと連携し、安全衛生対策を効果的に推進する。

### 7 安全衛生管理組織の強化及び人材育成の推進

近年、経験年数が5年未満の浅い労働者の労働災害、派遣労働者の労働災害が大幅に増加しており、また高齢労働者の労働災害も増加している。これは業種を問わず全般的な傾向となっている。

これら労働災害増加を減少させるには、人材育成とその環境整備が最も重要な要素であり、労働災害防止にかかる企業トップの強い意思表示、人材育成、これらを進めるための組織的で地道な安全衛生活動が必要である。

このため、岡山労働局においては、1 2 次防で促進を図った経営トップ、職場組織、働く人に係る次の「6つの提言」を推進し、人材育成、管理組織の強化に取り組むこととする。

また、これら取組みの定着を図るため、安全点検の日を活用することとする。

「6つの提言」を踏まえた安全衛生活動の促進

企業（経営トップ）は、

- 安全文化を再構築するための企業トップの強力なリーダーシップの発揮
- リスクアセスメントを有効活用するための指導者の育成

組織（職場単位等）は、

- 安全に関する技術・技能の組織的な伝承

－ 各階層に応じた適正な指導の実施

個人（働く人）は、

－ 常に結果を考えた行動の実施

－ リスクに対する感受性の醸成

#### 「安全点検の日」の定着、活用

毎月1日（又は、各事業場で定めた毎月一定の日）を「安全点検の日」として、全員参加による安全点検を普及定着させることにより、労働者の労働災害防止意識の高揚を図るとともに安全な職場環境の実現を図る。

また、安全点検の日においては労働者の行動についても点検を行うこととする。

岡山労働局 年次別災害発生状況

|              | 第10次防 (合計11485件) |                |                |                |                | 第11次防 (合計9908件) |                |                |                |                | 第12次防(合計9581件) |                |                |                |                |
|--------------|------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
|              | 15年              | 16年            | 17年            | 18年            | 19年            | 20年             | 21年            | 22年            | 23年            | 24年            | 25年            | 26年            | 27年            | 28年            | 29年            |
| <b>合計</b>    | ( 22 )<br>2270   | ( 33 )<br>2386 | ( 34 )<br>2343 | ( 23 )<br>2212 | ( 25 )<br>2274 | ( 16 )<br>2207  | ( 19 )<br>1819 | ( 18 )<br>1893 | ( 17 )<br>1966 | ( 33 )<br>2023 | ( 35 )<br>1968 | ( 14 )<br>1956 | ( 17 )<br>1914 | ( 14 )<br>1821 | ( 19 )<br>2113 |
| <b>製造業</b>   | ( 6 )<br>720     | ( 6 )<br>730   | ( 4 )<br>710   | ( 4 )<br>711   | ( 7 )<br>757   | ( 6 )<br>686    | ( 4 )<br>515   | ( 5 )<br>543   | ( 4 )<br>578   | ( 7 )<br>576   | ( 6 )<br>544   | ( 1 )<br>577   | ( 5 )<br>483   | ( 4 )<br>488   | ( 5 )<br>583   |
| 金属製品         | ( 1 )<br>155     | ( 1 )<br>159   | ( 4 )<br>166   | ( 1 )<br>172   | ( 5 )<br>169   | ( 1 )<br>144    | ( 2 )<br>117   | ( 2 )<br>115   | ( 3 )<br>126   | ( 3 )<br>127   | ( 3 )<br>100   | ( )<br>119     | ( 2 )<br>113   | ( 2 )<br>111   | ( 1 )<br>135   |
| 機械器具         | ( 3 )<br>93      | ( )<br>121     | ( )<br>111     | ( 1 )<br>138   | ( )<br>137     | ( 4 )<br>113    | ( )<br>74      | ( 2 )<br>82    | ( 1 )<br>99    | ( 1 )<br>101   | ( 2 )<br>83    | ( 1 )<br>99    | ( 1 )<br>65    | ( 0 )<br>67    | ( 3 )<br>103   |
| 化学工業         | ( )<br>55        | ( )<br>59      | ( )<br>57      | ( )<br>49      | ( )<br>74      | ( )<br>66       | ( )<br>39      | ( )<br>52      | ( )<br>56      | ( )<br>49      | ( )<br>47      | ( )<br>58      | ( 1 )<br>50    | ( 0 )<br>48    | ( )<br>46      |
| 製材木製品        | ( )<br>96        | ( 2 )<br>62    | ( )<br>70      | ( )<br>54      | ( )<br>62      | ( )<br>55       | ( 2 )<br>31    | ( )<br>26      | ( )<br>37      | ( )<br>44      | ( )<br>40      | ( )<br>32      | ( )<br>23      | ( 1 )<br>32    | ( )<br>39      |
| 窯業土石         | ( 2 )<br>57      | ( )<br>61      | ( )<br>54      | ( )<br>55      | ( 1 )<br>46    | ( 1 )<br>44     | ( )<br>25      | ( )<br>38      | ( )<br>28      | ( 2 )<br>44    | ( )<br>43      | ( )<br>40      | ( )<br>34      | ( 1 )<br>31    | ( )<br>35      |
| 繊維工業         | ( )<br>33        | ( )<br>41      | ( )<br>31      | ( 1 )<br>31    | ( )<br>32      | ( )<br>28       | ( )<br>24      | ( )<br>20      | ( )<br>21      | ( )<br>21      | ( )<br>23      | ( )<br>22      | ( )<br>24      | ( )<br>22      | ( )<br>25      |
| 食料品          | ( )<br>131       | ( )<br>116     | ( )<br>120     | ( )<br>133     | ( 1 )<br>152   | ( )<br>133      | ( )<br>141     | ( )<br>140     | ( )<br>148     | ( 1 )<br>124   | ( )<br>141     | ( )<br>145     | ( )<br>123     | ( )<br>120     | ( 1 )<br>137   |
| 印刷製本         | ( )<br>14        | ( )<br>19      | ( )<br>16      | ( 1 )<br>16    | ( )<br>13      | ( )<br>17       | ( )<br>11      | ( )<br>6       | ( )<br>8       | ( )<br>4       | ( )<br>6       | ( )<br>15      | ( 1 )<br>12    | ( )<br>7       | ( )<br>10      |
| ガス・電気        | ( )<br>4         | ( )<br>3       | ( )<br>0       | ( )<br>0       | ( )<br>4       | ( )<br>5        | ( )<br>0       | ( )<br>2       | ( )<br>0       | ( )<br>1       | ( )<br>1       | ( )<br>1       | ( )<br>1       | ( )<br>1       | ( )<br>1       |
| その他          | ( )<br>82        | ( 3 )<br>89    | ( )<br>85      | ( )<br>63      | ( )<br>68      | ( )<br>81       | ( )<br>53      | ( 1 )<br>62    | ( )<br>55      | ( )<br>61      | ( 1 )<br>60    | ( )<br>46      | ( )<br>38      | ( )<br>49      | ( )<br>53      |
| <b>鉱業</b>    | ( )<br>9         | ( )<br>10      | ( )<br>10      | ( )<br>10      | ( )<br>12      | ( )<br>7        | ( )<br>6       | ( )<br>4       | ( )<br>7       | ( )<br>6       | ( )<br>10      | ( )<br>9       | ( )<br>6       | ( )<br>7       | ( 3 )<br>10    |
| <b>建設業</b>   | ( 5 )<br>438     | ( 9 )<br>478   | ( 11 )<br>427  | ( 8 )<br>383   | ( 7 )<br>371   | ( 4 )<br>320    | ( 8 )<br>254   | ( 6 )<br>279   | ( 7 )<br>278   | ( 12 )<br>285  | ( 11 )<br>296  | ( 6 )<br>310   | ( 2 )<br>273   | ( 4 )<br>236   | ( 4 )<br>264   |
| 土木工事         | ( 2 )<br>127     | ( 5 )<br>130   | ( 7 )<br>137   | ( 2 )<br>89    | ( 3 )<br>93    | ( 2 )<br>83     | ( 3 )<br>74    | ( 2 )<br>74    | ( 1 )<br>66    | ( 7 )<br>80    | ( 7 )<br>92    | ( 2 )<br>71    | ( 1 )<br>58    | ( 1 )<br>59    | ( 2 )<br>75    |
| 建築工事         | ( 2 )<br>135     | ( 2 )<br>134   | ( 2 )<br>123   | ( 3 )<br>117   | ( 1 )<br>109   | ( 1 )<br>92     | ( 2 )<br>82    | ( )<br>80      | ( 5 )<br>77    | ( 3 )<br>83    | ( 1 )<br>81    | ( 2 )<br>115   | ( )<br>98      | ( 2 )<br>76    | ( )<br>85      |
| 木建工事         | ( )<br>138       | ( )<br>166     | ( 1 )<br>121   | ( 1 )<br>105   | ( )<br>100     | ( )<br>68       | ( 3 )<br>58    | ( )<br>74      | ( )<br>77      | ( )<br>60      | ( 1 )<br>64    | ( )<br>54      | ( )<br>47      | ( )<br>44      | ( )<br>55      |
| 設備工事         | ( 1 )<br>38      | ( 2 )<br>48    | ( 1 )<br>46    | ( 2 )<br>72    | ( 3 )<br>69    | ( 1 )<br>77     | ( )<br>40      | ( 4 )<br>51    | ( 1 )<br>58    | ( 2 )<br>62    | ( 2 )<br>59    | ( 2 )<br>70    | ( 1 )<br>70    | ( 1 )<br>57    | ( 2 )<br>49    |
| <b>運輸交通業</b> | ( 4 )<br>288     | ( 7 )<br>318   | ( 5 )<br>286   | ( 7 )<br>276   | ( 4 )<br>330   | ( 0 )<br>328    | ( 3 )<br>254   | ( 3 )<br>241   | ( 2 )<br>290   | ( 3 )<br>311   | ( 6 )<br>312   | ( 3 )<br>298   | ( 5 )<br>299   | ( 2 )<br>286   | ( 3 )<br>317   |
| 道路貨物         | ( 4 )<br>245     | ( 7 )<br>265   | ( 5 )<br>244   | ( 7 )<br>229   | ( 4 )<br>285   | ( )<br>286      | ( 3 )<br>223   | ( 3 )<br>215   | ( 2 )<br>262   | ( 3 )<br>271   | ( 5 )<br>270   | ( 3 )<br>257   | ( 5 )<br>265   | ( 2 )<br>252   | ( 3 )<br>283   |
| 鉄道・バス・タクシー   | ( )<br>43        | ( )<br>53      | ( )<br>42      | ( )<br>47      | ( )<br>45      | ( )<br>42       | ( )<br>31      | ( )<br>26      | ( )<br>28      | ( )<br>40      | ( 1 )<br>42    | ( )<br>41      | ( )<br>34      | ( )<br>34      | ( )<br>34      |
| <b>貨物取扱業</b> | ( 0 )<br>26      | ( 0 )<br>17    | ( 2 )<br>19    | ( 0 )<br>25    | ( 0 )<br>29    | ( 0 )<br>14     | ( 0 )<br>19    | ( 1 )<br>22    | ( 2 )<br>12    | ( 0 )<br>9     | ( 0 )<br>13    | ( 0 )<br>9     | ( 0 )<br>11    | ( 0 )<br>19    | ( 0 )<br>16    |
| 陸上貨物         | ( )<br>19        | ( )<br>7       | ( )<br>11      | ( )<br>17      | ( )<br>25      | ( )<br>12       | ( )<br>17      | ( 1 )<br>14    | ( )<br>8       | ( )<br>6       | ( )<br>12      | ( )<br>6       | ( )<br>10      | ( )<br>16      | ( )<br>13      |
| 港湾運送         | ( )<br>7         | ( )<br>10      | ( 2 )<br>8     | ( )<br>8       | ( )<br>4       | ( )<br>2        | ( )<br>2       | ( )<br>8       | ( 2 )<br>4     | ( )<br>3       | ( )<br>1       | ( )<br>3       | ( )<br>1       | ( )<br>3       | ( )<br>3       |
| <b>林業</b>    | ( 1 )<br>90      | ( 2 )<br>115   | ( 4 )<br>100   | ( 1 )<br>82    | ( 1 )<br>82    | ( 1 )<br>77     | ( 1 )<br>64    | ( )<br>63      | ( )<br>79      | ( 2 )<br>62    | ( )<br>48      | ( )<br>33      | ( 2 )<br>55    | ( 1 )<br>47    | ( )<br>31      |
| <b>その他業種</b> | ( 6 )<br>699     | ( 9 )<br>718   | ( 8 )<br>791   | ( 3 )<br>725   | ( 6 )<br>693   | ( 5 )<br>775    | ( 3 )<br>707   | ( 3 )<br>741   | ( 2 )<br>722   | ( 9 )<br>774   | ( 12 )<br>745  | ( 4 )<br>720   | ( 3 )<br>787   | ( 3 )<br>738   | ( 4 )<br>892   |
| 商業           | ( 3 )<br>240     | ( 4 )<br>262   | ( 2 )<br>289   | ( 2 )<br>258   | ( 5 )<br>261   | ( 1 )<br>271    | ( )<br>228     | ( 1 )<br>244   | ( 1 )<br>242   | ( 4 )<br>266   | ( 4 )<br>263   | ( 3 )<br>228   | ( 2 )<br>265   | ( 0 )<br>234   | ( 3 )<br>285   |
| 保健衛生         | ( 1 )<br>100     | ( )<br>78      | ( )<br>87      | ( )<br>100     | ( )<br>110     | ( )<br>113      | ( )<br>128     | ( )<br>145     | ( )<br>143     | ( )<br>167     | ( )<br>137     | ( 1 )<br>162   | ( )<br>174     | ( 1 )<br>187   | ( )<br>216     |
| 接客娯楽         | ( )<br>135       | ( 1 )<br>114   | ( 1 )<br>97    | ( )<br>97      | ( )<br>102     | ( 2 )<br>103    | ( )<br>97      | ( 1 )<br>99    | ( )<br>89      | ( 1 )<br>87    | ( )<br>107     | ( )<br>85      | ( )<br>90      | ( )<br>90      | ( )<br>125     |
| 清掃業          | ( )<br>72        | ( )<br>68      | ( 2 )<br>64    | ( 1 )<br>77    | ( )<br>47      | ( )<br>70       | ( 1 )<br>51    | ( )<br>68      | ( )<br>65      | ( 1 )<br>68    | ( 1 )<br>63    | ( )<br>64      | ( )<br>73      | ( 1 )<br>78    | ( )<br>77      |
| その他(農業・水産含)  | ( 2 )<br>152     | ( 4 )<br>196   | ( 3 )<br>254   | ( )<br>193     | ( 1 )<br>173   | ( 2 )<br>218    | ( 2 )<br>203   | ( 1 )<br>185   | ( 1 )<br>183   | ( 3 )<br>186   | ( 7 )<br>175   | ( )<br>181     | ( 1 )<br>185   | ( 1 )<br>149   | ( 1 )<br>189   |

(注)1 上記の数字は休業見込日数:4日以上の災害件数である。

(注)2 ( )内数字は死亡者数の再掲である。

|             |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 派遣員(派遣先:内職) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) |
|             |     |     |     |     |     | 90  | 30  | 44  | 67  | 51  | 39  | 42  | 38  | 48  | 69  |

(参考資料)

第13次労働災害防止推進計画 災害統計等

岡山労働局

\*12次防取りまとめ

(1) 業種別災害発生状況(主なもの)

<表1 業種別の死傷者数の推移>

| 業種      | 平成19年 | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 災害増減率  |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 製造業     | 757   | 576   | 544   | 577   | 483   | 488   | 581   | -23.2% |
| 建設業     | 371   | 285   | 296   | 310   | 273   | 236   | 259   | -30.2% |
| 道路貨物運送業 | 285   | 311   | 312   | 298   | 299   | 286   | 286   | 0.4%   |
| 第三次産業   | 665   | 747   | 707   | 689   | 750   | 708   | 852   | 28.1%  |
| 小売業     | 171   | 201   | 215   | 182   | 207   | 187   | 218   | 27.5%  |
| 社会福祉施設  | 25    | 108   | 89    | 118   | 114   | 150   | 161   | 544.0% |

平成29年は推計値。災害増減率は、平成29年推計値と平成19年と比較したもの。

<表2 業種別の死亡者数の推移>

| 業種      | 平成19年 | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 12次防<br>合計 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|
| 全産業     | 25    | 33    | 35    | 14    | 17    | 14    | 19    | 99         |
| 製造業     | 7     | 7     | 6     | 1     | 5     | 4     | 5     | 21         |
| 建設業     | 7     | 12    | 11    | 6     | 2     | 4     | 4     | 27         |
| 道路貨物運送業 | 4     | 3     | 5     | 3     | 5     | 2     | 3     | 18         |
| 林業      | 1     | 2     | 0     | 0     | 2     | 1     | 0     | 3          |
| 第三次産業   | 6     | 8     | 10    | 4     | 2     | 3     | 4     | 23         |
| その他     | 0     | 1     | 3     | 0     | 1     | 0     | 3     | 7          |

(2) 脳・心臓疾患及び精神障害による支給決定について

働き過ぎによって多くの方々の尊い命や健康が損なわれ、深刻な社会問題となっている。過労死等で労災認定される労働者は、全国では毎年800人前後で推移し、年齢階層別では、「脳・心臓疾患」は50、40歳代、「精神障害」は30、40歳代、29歳以下の順で多く、社会的な問題となっている。また、岡山県の脳・心臓疾患等の支給決定件数は、表3のとおりとなっている。

<表3 脳・心臓疾患及び精神障害による支給決定件数の推移：岡山県>

| 項目 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|----|------|------|------|------|------|
|----|------|------|------|------|------|

|            |        |   |   |   |   |   |
|------------|--------|---|---|---|---|---|
| 脳・<br>心臓疾患 | 支給決定件数 | 3 | 6 | 3 | 3 | 1 |
|            | うち死亡件数 | 1 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| 精神障害       | 支給決定件数 | 4 | 3 | 6 | 3 | 6 |
|            | うち自殺件数 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 支給決定件数合計   |        | 7 | 9 | 9 | 6 | 7 |
| うち死亡・自殺件数  |        | 2 | 3 | 2 | 2 | 1 |

### (3) メンタルヘルス対策・ストレスチェック制度

ア 岡山労働局の12次防の目標は、「平成29年までに規模100人以上の事業場のうちメンタルヘルス推進担当者を選任してメンタルヘルス対策に取り組む事業場の割合を90%以上にする。」であり、自主点検の結果、選任率95%となったが、あくまで自主点検であり、事業場内で確実に取組が行われているかを確認する必要がある。

<表4 メンタルヘルス推進担当者の選任率：岡山県>

| 推進担当者の内訳                       | 衛生管理者 | 保健師<br>看護師 | 人事労務<br>管理担当 | 未定<br>その他 | 未選任 |
|--------------------------------|-------|------------|--------------|-----------|-----|
| メンタルヘルス推進担当者<br>(未選任以外は複数回答あり) | 33%   | 7%         | 44%          | 13%       | 5%  |

イ 平成27年12月にストレスチェック制度が始まり、規模50人以上の事業場で平成28年に1回以上実施した割合は83.5%となっている。

集団分析を実施した集団の割合は70.1%となっているが、集団分析の実施及びその結果を活用して職場慣行改善につなげるよう、周知する必要がある。

<表5 ストレスチェック実施状況：岡山県>

| 項目（対象：規模50人以上の労働者を使用する事業場）         |                                     | 割合        | 全国    |       |
|------------------------------------|-------------------------------------|-----------|-------|-------|
| 平成28年にストレスチェックを実施した事業場             |                                     | 83.5%     | 82.9% |       |
| 平成28年 ストレスチェック実施状況                 |                                     | 検査を受けた者   | 78.7% | 78.0% |
|                                    |                                     | 面接指導を受けた者 | 0.4%  | 0.6%  |
| ストレ<br>スチエ<br>ック実<br>施者<br>の状<br>況 | 事業場選任の産業医*                          | 検査実施者     | 48.2% | 49.4% |
|                                    |                                     | 面接指導実施者   | 68.2% | 79.1% |
|                                    | 事業場所属の医師（*を除く）、保<br>健師、看護師又は精神保健福祉士 | 検査実施者     | 11.1% | 8.8%  |
|                                    |                                     | 面接指導実施者   | 6.6%  | 5.8%  |
|                                    | 外部委託先の医師、保健師、看護<br>師又は精神保健福祉士       | 検査実施者     | 40.6% | 41.8% |
|                                    |                                     | 面接指導実施者   | 25.2% | 15.1% |
| 集団分析を実施した集団の割合                     |                                     | 有         | 70.1% | 78.3% |
|                                    |                                     | 無         | 29.9% | 21.7% |

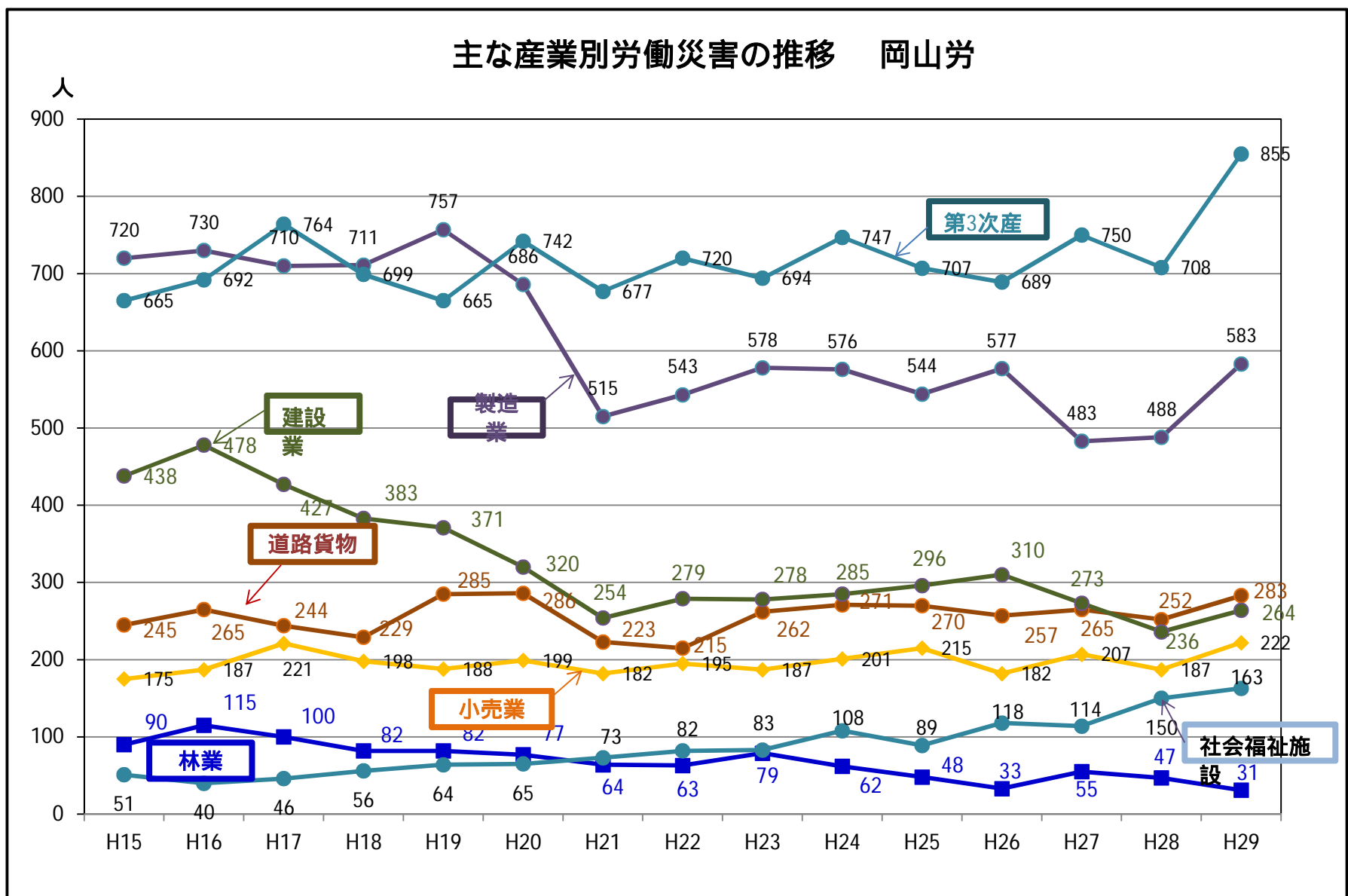
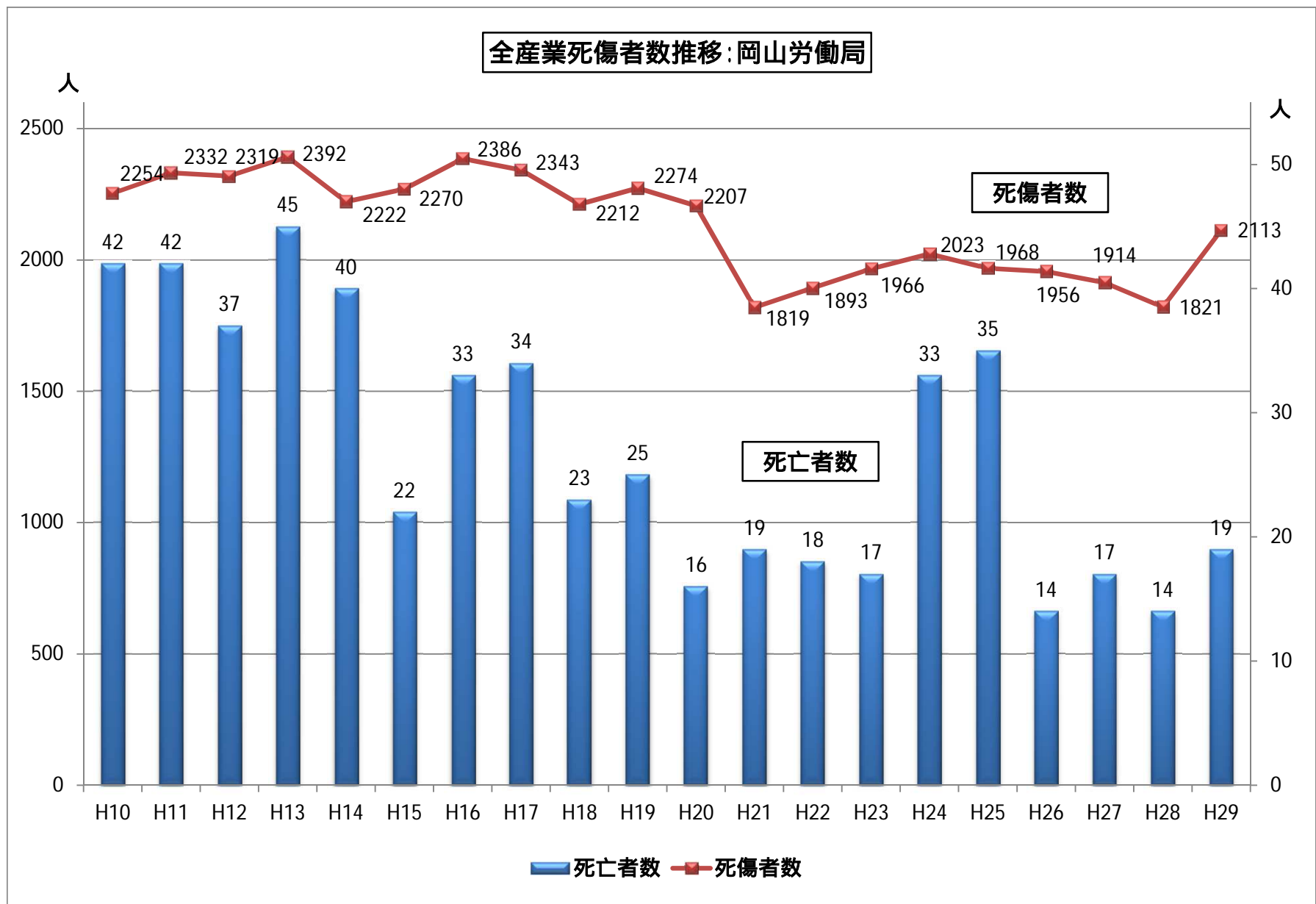
岡山労働局 年次別災害発生状況

|              | 第10次防 (合計11485件) |                |                |                |                | 第11次防 (合計9908件) |                |                |                |                | 第12次防(合計9581件) |                |                |                |                |
|--------------|------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
|              | 15年              | 16年            | 17年            | 18年            | 19年            | 20年             | 21年            | 22年            | 23年            | 24年            | 25年            | 26年            | 27年            | 28年            | 29年            |
| <b>合計</b>    | ( 22 )<br>2270   | ( 33 )<br>2386 | ( 34 )<br>2343 | ( 23 )<br>2212 | ( 25 )<br>2274 | ( 16 )<br>2207  | ( 19 )<br>1819 | ( 18 )<br>1893 | ( 17 )<br>1966 | ( 33 )<br>2023 | ( 35 )<br>1968 | ( 14 )<br>1956 | ( 17 )<br>1914 | ( 14 )<br>1821 | ( 19 )<br>2113 |
| <b>製造業</b>   | ( 6 )<br>720     | ( 6 )<br>730   | ( 4 )<br>710   | ( 4 )<br>711   | ( 7 )<br>757   | ( 6 )<br>686    | ( 4 )<br>515   | ( 5 )<br>543   | ( 4 )<br>578   | ( 7 )<br>576   | ( 6 )<br>544   | ( 1 )<br>577   | ( 5 )<br>483   | ( 4 )<br>488   | ( 5 )<br>583   |
| 金属製品         | ( 1 )<br>155     | ( 1 )<br>159   | ( 4 )<br>166   | ( 1 )<br>172   | ( 5 )<br>169   | ( 1 )<br>144    | ( 2 )<br>117   | ( 2 )<br>115   | ( 3 )<br>126   | ( 3 )<br>127   | ( 3 )<br>100   | ( )<br>119     | ( 2 )<br>113   | ( 2 )<br>111   | ( 1 )<br>135   |
| 機械器具         | ( 3 )<br>93      | ( )<br>121     | ( )<br>111     | ( 1 )<br>138   | ( )<br>137     | ( 4 )<br>113    | ( )<br>74      | ( 2 )<br>82    | ( 1 )<br>99    | ( 1 )<br>101   | ( 2 )<br>83    | ( 1 )<br>99    | ( 1 )<br>65    | ( 0 )<br>67    | ( 3 )<br>103   |
| 化学工業         | ( )<br>55        | ( )<br>59      | ( )<br>57      | ( )<br>49      | ( )<br>74      | ( )<br>66       | ( )<br>39      | ( )<br>52      | ( )<br>56      | ( )<br>49      | ( )<br>47      | ( )<br>58      | ( 1 )<br>50    | ( 0 )<br>48    | ( )<br>46      |
| 製材木製品        | ( )<br>96        | ( 2 )<br>62    | ( )<br>70      | ( )<br>54      | ( )<br>62      | ( )<br>55       | ( 2 )<br>31    | ( )<br>26      | ( )<br>37      | ( )<br>44      | ( )<br>40      | ( )<br>32      | ( )<br>23      | ( 1 )<br>32    | ( )<br>39      |
| 窯業土石         | ( 2 )<br>57      | ( )<br>61      | ( )<br>54      | ( )<br>55      | ( 1 )<br>46    | ( 1 )<br>44     | ( )<br>25      | ( )<br>38      | ( )<br>28      | ( 2 )<br>44    | ( )<br>43      | ( )<br>40      | ( )<br>34      | ( 1 )<br>31    | ( )<br>35      |
| 繊維工業         | ( )<br>33        | ( )<br>41      | ( )<br>31      | ( 1 )<br>31    | ( )<br>32      | ( )<br>28       | ( )<br>24      | ( )<br>20      | ( )<br>21      | ( )<br>21      | ( )<br>23      | ( )<br>22      | ( )<br>24      | ( )<br>22      | ( )<br>25      |
| 食料品          | ( )<br>131       | ( )<br>116     | ( )<br>120     | ( )<br>133     | ( 1 )<br>152   | ( )<br>133      | ( )<br>141     | ( )<br>140     | ( )<br>148     | ( 1 )<br>124   | ( )<br>141     | ( )<br>145     | ( )<br>123     | ( )<br>120     | ( 1 )<br>137   |
| 印刷製本         | ( )<br>14        | ( )<br>19      | ( )<br>16      | ( 1 )<br>16    | ( )<br>13      | ( )<br>17       | ( )<br>11      | ( )<br>6       | ( )<br>8       | ( )<br>4       | ( )<br>6       | ( )<br>15      | ( 1 )<br>12    | ( )<br>7       | ( )<br>10      |
| ガス・電気        | ( )<br>4         | ( )<br>3       | ( )<br>0       | ( )<br>0       | ( )<br>4       | ( )<br>5        | ( )<br>0       | ( )<br>2       | ( )<br>0       | ( )<br>1       | ( )<br>1       | ( )<br>1       | ( )<br>1       | ( )<br>1       | ( )<br>1       |
| その他          | ( )<br>82        | ( 3 )<br>89    | ( )<br>85      | ( )<br>63      | ( )<br>68      | ( )<br>81       | ( )<br>53      | ( 1 )<br>62    | ( )<br>55      | ( )<br>61      | ( 1 )<br>60    | ( )<br>46      | ( )<br>38      | ( )<br>49      | ( )<br>53      |
| <b>鉱業</b>    | ( )<br>9         | ( )<br>10      | ( )<br>10      | ( )<br>10      | ( )<br>12      | ( )<br>7        | ( )<br>6       | ( )<br>4       | ( )<br>7       | ( )<br>6       | ( )<br>10      | ( )<br>9       | ( )<br>6       | ( )<br>7       | ( 3 )<br>10    |
| <b>建設業</b>   | ( 5 )<br>438     | ( 9 )<br>478   | ( 11 )<br>427  | ( 8 )<br>383   | ( 7 )<br>371   | ( 4 )<br>320    | ( 8 )<br>254   | ( 6 )<br>279   | ( 7 )<br>278   | ( 12 )<br>285  | ( 11 )<br>296  | ( 6 )<br>310   | ( 2 )<br>273   | ( 4 )<br>236   | ( 4 )<br>264   |
| 土木工事         | ( 2 )<br>127     | ( 5 )<br>130   | ( 7 )<br>137   | ( 2 )<br>89    | ( 3 )<br>93    | ( 2 )<br>83     | ( 3 )<br>74    | ( 2 )<br>74    | ( 1 )<br>66    | ( 7 )<br>80    | ( 7 )<br>92    | ( 2 )<br>71    | ( 1 )<br>58    | ( 1 )<br>59    | ( 2 )<br>75    |
| 建築工事         | ( 2 )<br>135     | ( 2 )<br>134   | ( 2 )<br>123   | ( 3 )<br>117   | ( 1 )<br>109   | ( 1 )<br>92     | ( 2 )<br>82    | ( )<br>80      | ( 5 )<br>77    | ( 3 )<br>83    | ( 1 )<br>81    | ( 2 )<br>115   | ( )<br>98      | ( 2 )<br>76    | ( )<br>85      |
| 木建工事         | ( )<br>138       | ( )<br>166     | ( 1 )<br>121   | ( 1 )<br>105   | ( )<br>100     | ( )<br>68       | ( 3 )<br>58    | ( )<br>74      | ( )<br>77      | ( )<br>60      | ( 1 )<br>64    | ( )<br>54      | ( )<br>47      | ( )<br>44      | ( )<br>55      |
| 設備工事         | ( 1 )<br>38      | ( 2 )<br>48    | ( 1 )<br>46    | ( 2 )<br>72    | ( 3 )<br>69    | ( 1 )<br>77     | ( )<br>40      | ( 4 )<br>51    | ( 1 )<br>58    | ( 2 )<br>62    | ( 2 )<br>59    | ( 2 )<br>70    | ( 1 )<br>70    | ( 1 )<br>57    | ( 2 )<br>49    |
| <b>運輸交通業</b> | ( 4 )<br>288     | ( 7 )<br>318   | ( 5 )<br>286   | ( 7 )<br>276   | ( 4 )<br>330   | ( 0 )<br>328    | ( 3 )<br>254   | ( 3 )<br>241   | ( 2 )<br>290   | ( 3 )<br>311   | ( 6 )<br>312   | ( 3 )<br>298   | ( 5 )<br>299   | ( 2 )<br>286   | ( 3 )<br>317   |
| 道路貨物         | ( 4 )<br>245     | ( 7 )<br>265   | ( 5 )<br>244   | ( 7 )<br>229   | ( 4 )<br>285   | ( )<br>286      | ( 3 )<br>223   | ( 3 )<br>215   | ( 2 )<br>262   | ( 3 )<br>271   | ( 5 )<br>270   | ( 3 )<br>257   | ( 5 )<br>265   | ( 2 )<br>252   | ( 3 )<br>283   |
| 鉄道・バス・タクシー   | ( )<br>43        | ( )<br>53      | ( )<br>42      | ( )<br>47      | ( )<br>45      | ( )<br>42       | ( )<br>31      | ( )<br>26      | ( )<br>28      | ( )<br>40      | ( 1 )<br>42    | ( )<br>41      | ( )<br>34      | ( )<br>34      | ( )<br>34      |
| <b>貨物取扱業</b> | ( 0 )<br>26      | ( 0 )<br>17    | ( 2 )<br>19    | ( 0 )<br>25    | ( 0 )<br>29    | ( 0 )<br>14     | ( 0 )<br>19    | ( 1 )<br>22    | ( 2 )<br>12    | ( 0 )<br>9     | ( 0 )<br>13    | ( 0 )<br>9     | ( 0 )<br>11    | ( 0 )<br>19    | ( 0 )<br>16    |
| 陸上貨物         | ( )<br>19        | ( )<br>7       | ( )<br>11      | ( )<br>17      | ( )<br>25      | ( )<br>12       | ( )<br>17      | ( 1 )<br>14    | ( )<br>8       | ( )<br>6       | ( )<br>12      | ( )<br>6       | ( )<br>10      | ( )<br>16      | ( )<br>13      |
| 港湾運送         | ( )<br>7         | ( )<br>10      | ( 2 )<br>8     | ( )<br>8       | ( )<br>4       | ( )<br>2        | ( )<br>2       | ( )<br>8       | ( 2 )<br>4     | ( )<br>3       | ( )<br>1       | ( )<br>3       | ( )<br>1       | ( )<br>3       | ( )<br>3       |
| <b>林業</b>    | ( 1 )<br>90      | ( 2 )<br>115   | ( 4 )<br>100   | ( 1 )<br>82    | ( 1 )<br>82    | ( 1 )<br>77     | ( 1 )<br>64    | ( )<br>63      | ( )<br>79      | ( 2 )<br>62    | ( )<br>48      | ( )<br>33      | ( 2 )<br>55    | ( 1 )<br>47    | ( )<br>31      |
| <b>その他業種</b> | ( 6 )<br>699     | ( 9 )<br>718   | ( 8 )<br>791   | ( 3 )<br>725   | ( 6 )<br>693   | ( 5 )<br>775    | ( 3 )<br>707   | ( 3 )<br>741   | ( 2 )<br>722   | ( 9 )<br>774   | ( 12 )<br>745  | ( 4 )<br>720   | ( 3 )<br>787   | ( 3 )<br>738   | ( 4 )<br>892   |
| 商業           | ( 3 )<br>240     | ( 4 )<br>262   | ( 2 )<br>289   | ( 2 )<br>258   | ( 5 )<br>261   | ( 1 )<br>271    | ( )<br>228     | ( 1 )<br>244   | ( 1 )<br>242   | ( 4 )<br>266   | ( 4 )<br>263   | ( 3 )<br>228   | ( 2 )<br>265   | ( 0 )<br>234   | ( 3 )<br>285   |
| 保健衛生         | ( 1 )<br>100     | ( )<br>78      | ( )<br>87      | ( )<br>100     | ( )<br>110     | ( )<br>113      | ( )<br>128     | ( )<br>145     | ( )<br>143     | ( )<br>167     | ( )<br>137     | ( 1 )<br>162   | ( )<br>174     | ( 1 )<br>187   | ( )<br>216     |
| 接客娯楽         | ( )<br>135       | ( 1 )<br>114   | ( 1 )<br>97    | ( )<br>97      | ( )<br>102     | ( 2 )<br>103    | ( )<br>97      | ( 1 )<br>99    | ( )<br>89      | ( 1 )<br>87    | ( )<br>107     | ( )<br>85      | ( )<br>90      | ( )<br>90      | ( )<br>125     |
| 清掃業          | ( )<br>72        | ( )<br>68      | ( 2 )<br>64    | ( 1 )<br>77    | ( )<br>47      | ( )<br>70       | ( 1 )<br>51    | ( )<br>68      | ( )<br>65      | ( 1 )<br>68    | ( 1 )<br>63    | ( )<br>64      | ( )<br>73      | ( 1 )<br>78    | ( )<br>77      |
| その他(農業・水産含)  | ( 2 )<br>152     | ( 4 )<br>196   | ( 3 )<br>254   | ( )<br>193     | ( 1 )<br>173   | ( 2 )<br>218    | ( 2 )<br>203   | ( 1 )<br>185   | ( 1 )<br>183   | ( 3 )<br>186   | ( 7 )<br>175   | ( )<br>181     | ( 1 )<br>185   | ( 1 )<br>149   | ( 1 )<br>189   |

(注)1 上記の数字は休業見込日数:4日以上の災害件数である。

(注)2 ( )内数字は死亡者数の再掲である。

|             |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 派遣員(派遣先:内職) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) |
|             |     |     |     |     |     | 90  | 30  | 44  | 67  | 51  | 39  | 42  | 38  | 48  | 69  |



死亡災害(事故の型別-業種別)

|                | 製造業       | 建設業        | 運輸交通業     | 林業        | 商業        | 総計         |
|----------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| <b>1 墜落・転落</b> | 11        | 40         | 3         | 6         | 4         | 75         |
| 10次            | 5         | 20         |           | 3         | 3         | 36         |
| 11次            | 3         | 10         |           | 1         |           | 17         |
| 12次            | 3         | 10         | 3         | 2         | 1         | 22         |
| <b>4 飛来・落下</b> | 8         | 4          |           | 1         |           | 16         |
| 10次            | 2         | 1          |           |           |           | 4          |
| 11次            | 3         |            |           |           |           | 4          |
| 12次            | 3         | 3          |           | 1         |           | 8          |
| <b>5 崩壊・倒壊</b> | 7         | 12         | 2         | 1         | 2         | 25         |
| 10次            | 3         | 2          | 1         | 1         |           | 7          |
| 11次            | 3         | 7          |           |           | 1         | 11         |
| 12次            | 1         | 3          | 1         |           | 1         | 7          |
| <b>6 激突され</b>  | 7         | 13         | 3         | 11        | 1         | 40         |
| 10次            | 1         | 6          | 2         | 5         | 1         | 17         |
| 11次            | 2         | 3          |           | 3         |           | 9          |
| 12次            | 4         | 4          | 1         | 3         |           | 14         |
| <b>7 はさまれ等</b> | 26        | 12         | 5         |           | 2         | 52         |
| 10次            | 9         | 6          | 3         |           | 1         | 21         |
| 11次            | 9         | 4          |           |           | 1         | 19         |
| 12次            | 8         | 2          | 2         |           |           | 12         |
| <b>17 交通事故</b> | 4         | 10         | 40        |           | 19        | 88         |
| 10次            | 2         | 1          | 20        |           | 6         | 34         |
| 11次            | 1         | 5          | 9         |           | 5         | 25         |
| 12次            | 1         | 4          | 11        |           | 8         | 29         |
| <b>総計</b>      | <b>75</b> | <b>106</b> | <b>58</b> | <b>19</b> | <b>36</b> | <b>348</b> |



死亡災害(起因物 - 業種別)

|                | 製造業 | 建設業 | 運輸交通業 | 林業 | 商業 | 総計  |
|----------------|-----|-----|-------|----|----|-----|
| <b>1 動力機械</b>  | 16  | 23  |       | 1  |    | 42  |
| <b>建設機械</b>    | 2   | 22  |       |    |    | 25  |
| 10次            | 2   | 8   |       |    |    | 10  |
| 11次            |     | 6   |       |    |    | 6   |
| 12次            |     | 8   |       |    |    | 9   |
| <b>金属加工</b>    | 5   |     |       |    |    | 5   |
| 10次            | 2   |     |       |    |    | 2   |
| 11次            | 2   |     |       |    |    | 2   |
| 12次            | 1   |     |       |    |    | 1   |
| <b>一般動力</b>    | 7   | 1   |       | 1  |    | 9   |
| 10次            | 3   |     |       | 1  |    | 4   |
| 11次            | 3   | 1   |       |    |    | 4   |
| 12次            | 1   |     |       |    |    | 1   |
| <b>2 物上装置等</b> | 27  | 26  | 52    |    | 26 | 167 |
| <b>クレーン</b>    | 8   | 5   |       |    | 1  | 16  |
| 10次            | 4   | 2   |       |    | 1  | 8   |
| 11次            | 2   | 1   |       |    |    | 4   |
| 12次            | 2   | 2   |       |    |    | 4   |
| <b>動力運搬</b>    | 18  | 16  | 48    |    | 7  | 105 |
| 10次            | 5   | 6   | 22    |    | 4  | 44  |
| 11次            | 4   | 6   | 10    |    | 3  | 28  |
| 12次            | 9   | 4   | 16    |    |    | 33  |
| <b>乗物</b>      | 1   | 5   | 4     |    | 18 | 46  |
| 10次            |     | 1   | 3     |    | 6  | 18  |
| 11次            |     | 3   |       |    | 4  | 13  |
| 12次            | 1   | 1   | 1     |    | 8  | 15  |
| <b>3 その他の装</b> | 13  | 11  |       | 3  | 1  | 31  |
| 10次            | 6   | 4   |       | 1  |    | 11  |
| 11次            | 3   | 4   |       |    |    | 9   |
| 12次            | 4   | 3   |       | 2  | 1  | 11  |
| <b>4 仮設物等</b>  | 4   | 30  |       |    | 3  | 42  |
| 10次            |     | 13  |       |    | 3  | 18  |
| 11次            | 3   | 13  |       |    |    | 17  |
| 12次            | 1   | 4   |       |    |    | 7   |
| <b>7 環境等</b>   | 1   | 12  | 2     | 13 | 1  | 34  |
| 10次            | 1   | 5   | 2     | 6  | 1  | 15  |
| 11次            |     | 4   |       | 4  |    | 11  |
| 12次            |     | 3   |       | 3  |    | 8   |
| <b>総計</b>      | 75  | 106 | 58    | 19 | 36 | 348 |

## 全産業における災害発生状況

29年は30年2月末

### 年齢別

|         | 24年 | 29年 | 増減     |
|---------|-----|-----|--------|
| ～29歳    | 306 | 347 | 12.3%  |
| 30～39歳  | 370 | 333 | -10.9% |
| 40～49歳  | 425 | 439 | 2.3%   |
| 50～59歳  | 456 | 475 | 1.3%   |
| 60歳以上   | 466 | 485 | 1.9%   |
| 内 70歳以上 | 75  | 95  | 26.7%  |

### 経験年数別

|            | 24年 | 29年 | 増減     |
|------------|-----|-----|--------|
| 1年以内       | 404 | 424 | 5.0%   |
| 1年以上 3年未満  | 338 | 414 | 22.5%  |
| 3年以上 5年未満  | 241 | 238 | -1.2%  |
| 5年以上 10年未満 | 401 | 336 | -16.2% |
| 10年以上      | 681 | 675 | -0.9%  |

### 主な事故の型別

|           | 24年         | 29年         | 増減          |
|-----------|-------------|-------------|-------------|
| 墜落・転落     | 348         | 359         | 3.2%        |
| 転倒        | 423         | 412         | -2.6%       |
| 激突        | 89          | 77          | -13.5%      |
| 飛来・落下     | 122         | 139         | 13.9%       |
| 崩壊・倒壊     | 35          | 45          | 28.6%       |
| 激突され      | 101         | 83          | -17.8%      |
| はさまれ等     | 270         | 305         | 13.0%       |
| 切れ・こすれ    | 169         | 144         | -14.8%      |
| 高・低温物との接触 | 55          | 57          | 3.6%        |
| 交通事故      | 162         | 170         | 4.9%        |
| 腰痛等       | 203         | 236         | 16.3%       |
| その他       | 46          | 52          | 13.0%       |
| <b>総計</b> | <b>2023</b> | <b>2079</b> | <b>2.8%</b> |

### 主な起因物別

|                    | 24年         | 29年         | 増減            |
|--------------------|-------------|-------------|---------------|
| <b>1 動力機械</b>      | <b>251</b>  | <b>265</b>  | <b>5.6%</b>   |
| 木材加工               | 62          | 43          | -30.6%        |
| 建設機械               | 30          | 36          | 20.0%         |
| 金属加工               | 39          | 63          | 61.5%         |
| <b>2 物上装置、運搬機械</b> | <b>456</b>  | <b>479</b>  | <b>5.0%</b>   |
| 動力クレーン             | 36          | 43          | 19.4%         |
| 動力運搬機              | 250         | 274         | 9.6%          |
| 乗物                 | 170         | 162         | -4.7%         |
| <b>3 その他の装置</b>    | <b>342</b>  | <b>371</b>  | <b>8.5%</b>   |
| 人力機械工具             | 99          | 131         | 32.3%         |
| 用具                 | 173         | 171         | -1.2%         |
| その他の装置             | 46          | 53          | 15.2%         |
| <b>4 仮設物等</b>      | <b>461</b>  | <b>446</b>  | <b>-3.3%</b>  |
| <b>5 物質・材料</b>     | <b>160</b>  | <b>140</b>  | <b>-12.5%</b> |
| <b>6 荷</b>         | <b>133</b>  | <b>117</b>  | <b>-12.0%</b> |
| <b>7 環境等</b>       | <b>97</b>   | <b>114</b>  | <b>17.5%</b>  |
| <b>9 その他</b>       | <b>123</b>  | <b>147</b>  | <b>19.5%</b>  |
| <b>総計</b>          | <b>2023</b> | <b>2079</b> | <b>2.8%</b>   |



# 製造業

## 経験年数別

|        | 10次防 | 11次防 | 12次防 |
|--------|------|------|------|
| 5年未満   | 1879 | 1494 | 1411 |
| 内 1年未満 | 845  | 656  | 632  |
| 5年～10年 | 579  | 485  | 455  |
| 10年以上  | 1256 | 972  | 842  |

|        | 10次防 |     | 11次防 |     | 12次防 |     |
|--------|------|-----|------|-----|------|-----|
|        | はさまれ | 切れ  | はさまれ | 切れ  | はさまれ | 切れ  |
| 5年未満   | 636  | 254 | 421  | 213 | 442  | 185 |
| 内 1年未満 | 291  | 111 | 188  | 88  | 211  | 98  |
| 5年～10年 | 163  | 60  | 124  | 52  | 132  | 43  |
| 10年以上  | 346  | 115 | 242  | 81  | 210  | 96  |

## 事故の型 - 起因物別

|     |       | 木材加工 | 金属加工 | 一般動力 | クレーン | 動力運搬 |
|-----|-------|------|------|------|------|------|
| 10次 | はさまれ等 | 37   | 208  | 384  | 49   | 198  |
|     | 切れ等   | 121  | 54   | 101  |      | 3    |
| 11次 | はさまれ等 | 17   | 126  | 310  | 33   | 100  |
|     | 切れ等   | 68   | 49   | 90   | 2    | 4    |
| 12次 | はさまれ等 | 15   | 141  | 290  | 50   | 126  |
|     | 切れ等   | 66   | 51   | 84   | 1    | 1    |

### はさまれ-動力クレーンの主な内訳

|            | 10次 | 11次 | 12次 |
|------------|-----|-----|-----|
| クレーン       | 32  | 30  | 42  |
| 移動式クレーン    | 4   | 1   | 3   |
| エレベーター、リフト | 6   | 2   | 2   |
| その他        | 7   | 0   | 3   |

クレーン災害が最も多い

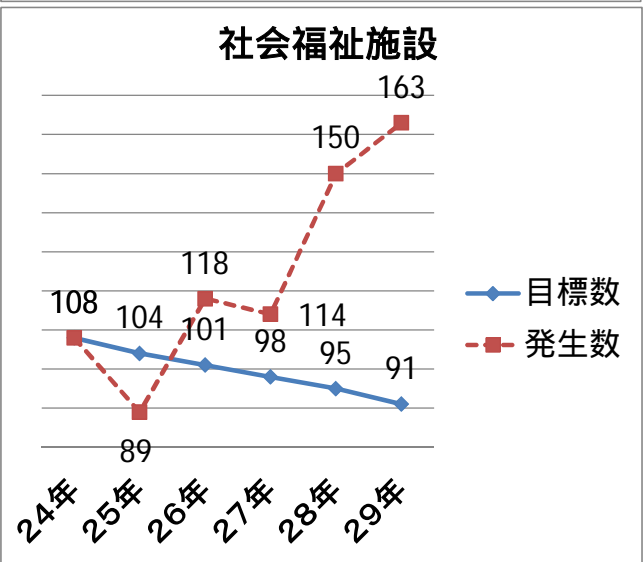
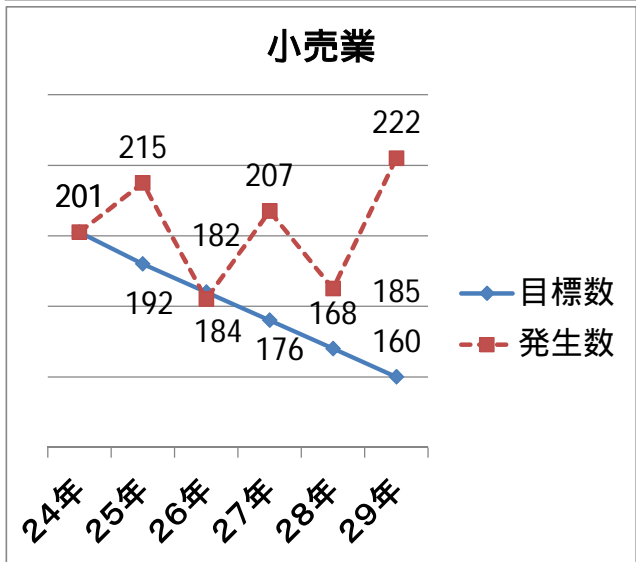
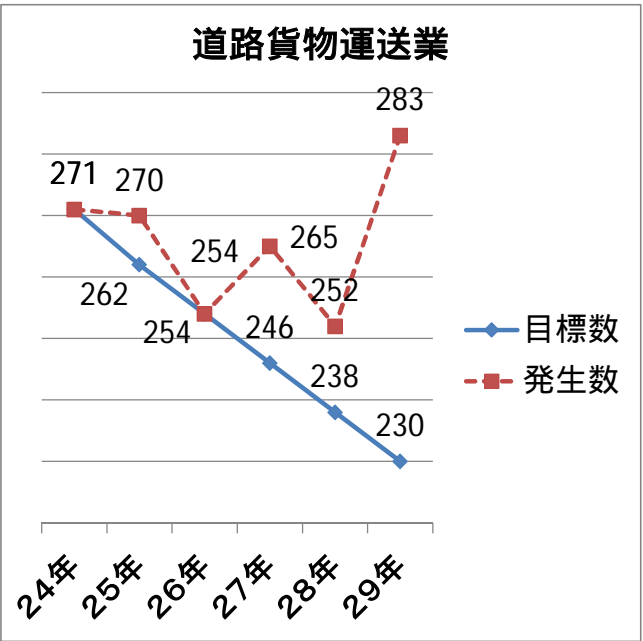
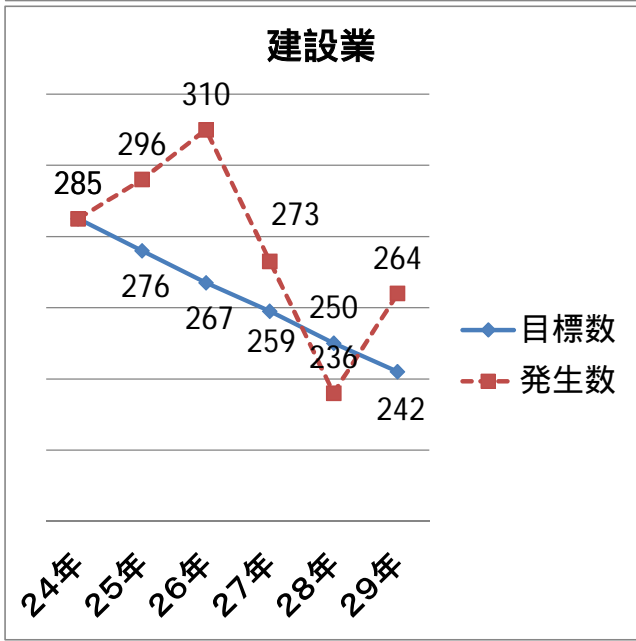
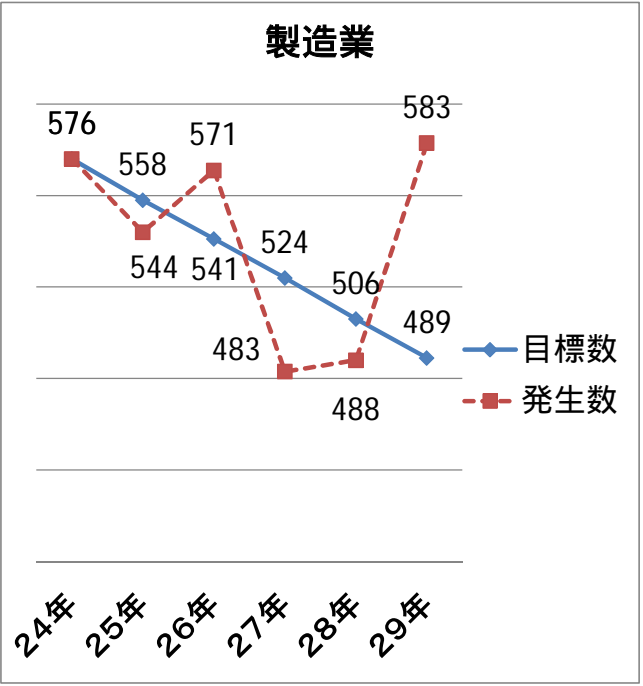
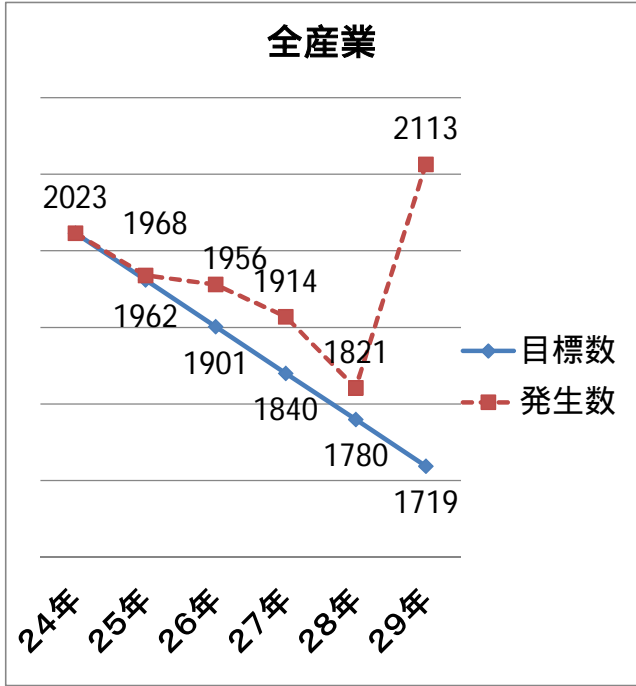
### はさまれ-動力運搬機械の主な内訳

|         | 10次 | 11次 | 12次 |
|---------|-----|-----|-----|
| トラック    | 23  | 7   | 12  |
| フォークリフト | 58  | 19  | 24  |
| コンベヤ    | 94  | 63  | 78  |

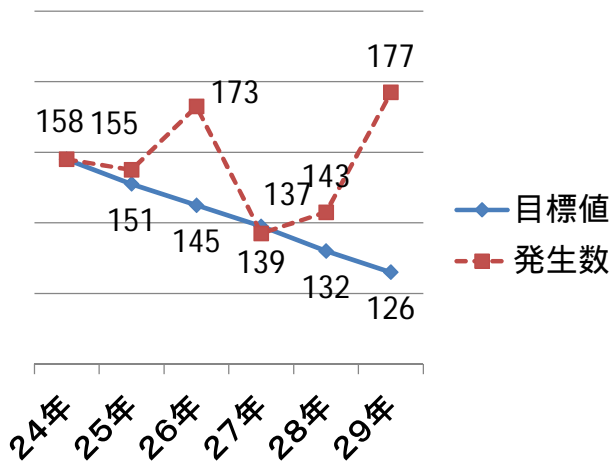
コンベヤ災害が最も多い

# 第12次防の目標数と岡山労働局管内の死傷災害発生数(休業4日以上)

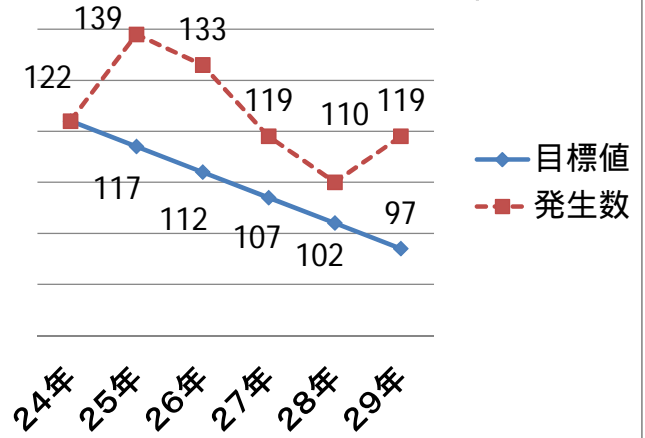
29年は過去5年間の30年2月末速報値と確定値との比較に基づく推計値



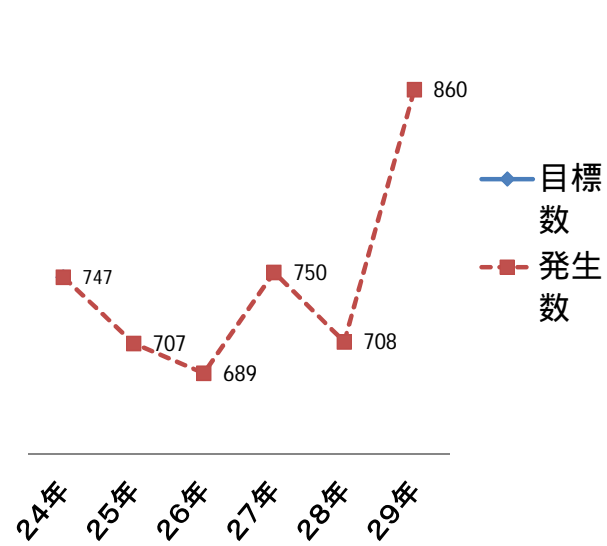
### 製造業(挟まれ、巻き込まれ)



### 建設業(墜落、転落、建設機械等及び崩壊・倒壊災害)

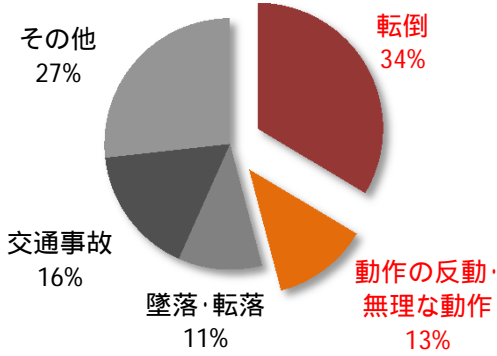


### 第三次産業

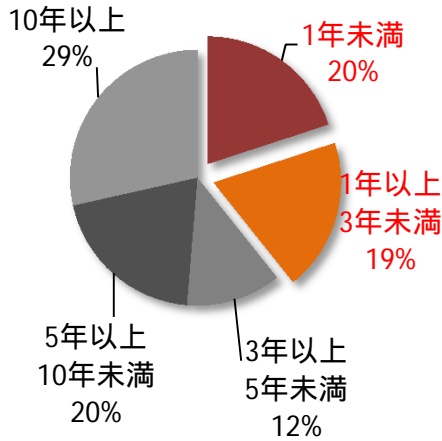


# 小売業における労働災害の発生状況

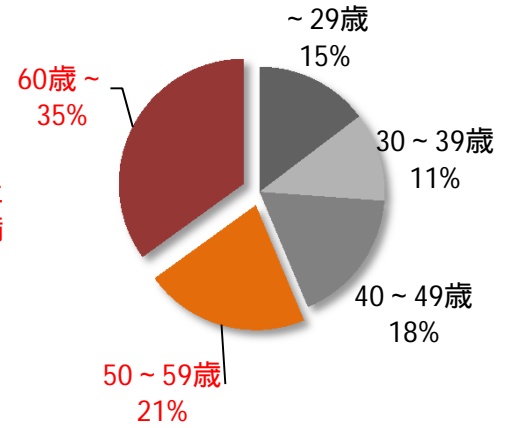
事故の型別  
(平成25～29年・小売業)



経験年数別  
(平成25～29年・小売業)



年齢別  
(平成25～29年・小売業)

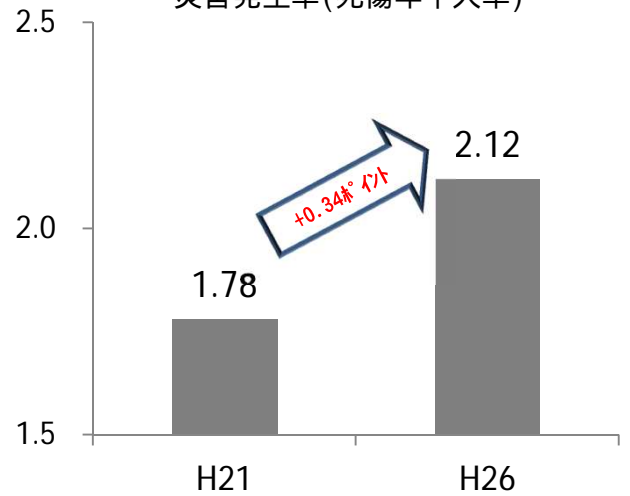


# 社会福祉施設における労働災害の発生状況

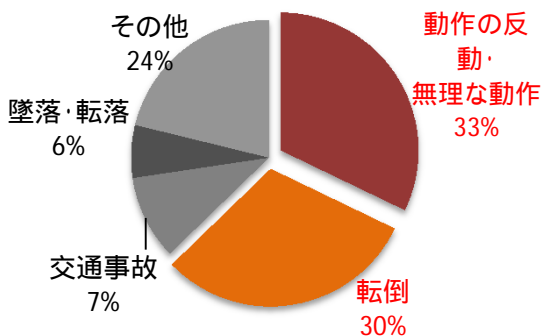
労働災害発生状況の推移



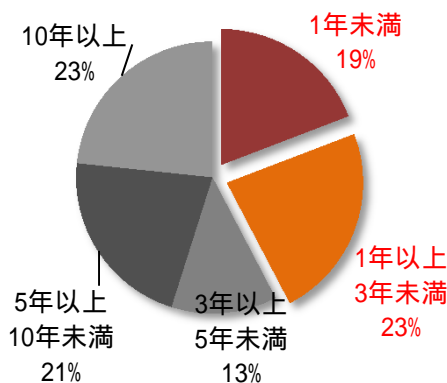
災害発生率(死傷年千人率)



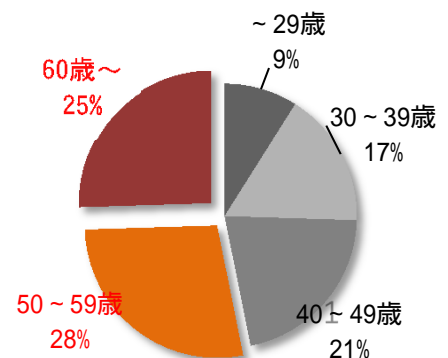
事故の型別  
(平成25～29年)



経験期間別  
(平成25年～29年)



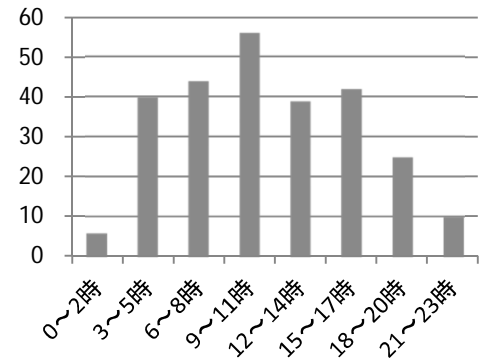
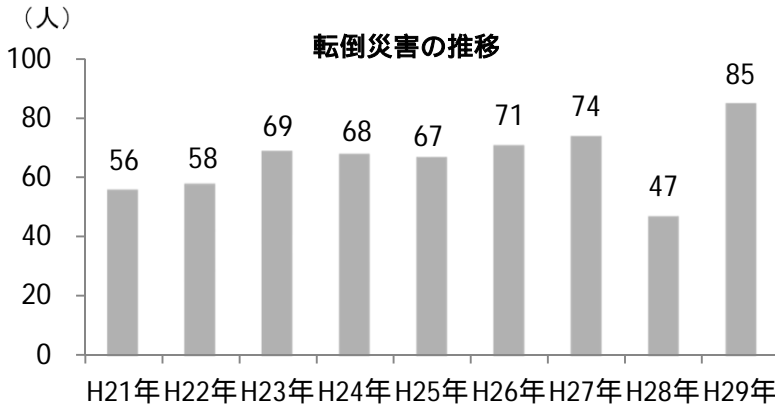
年齢別  
(平成25年～29年)



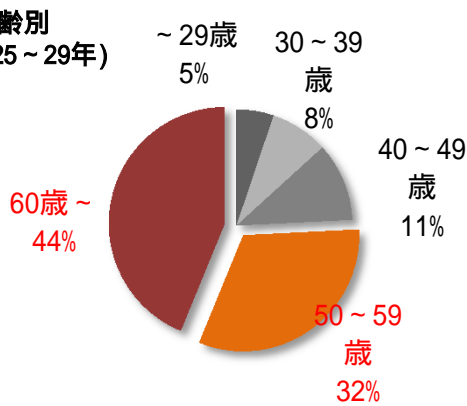
# 小売業・社会福祉施設における転倒災害の発生状況

## 【小売業】

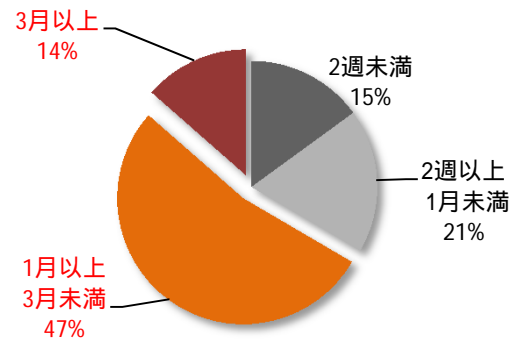
時間帯別（平成25年～29年）



年齢別  
(平成25～29年)

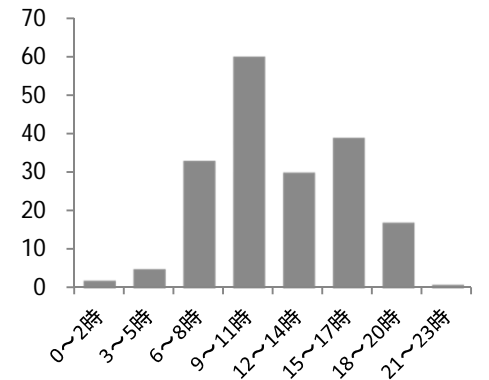
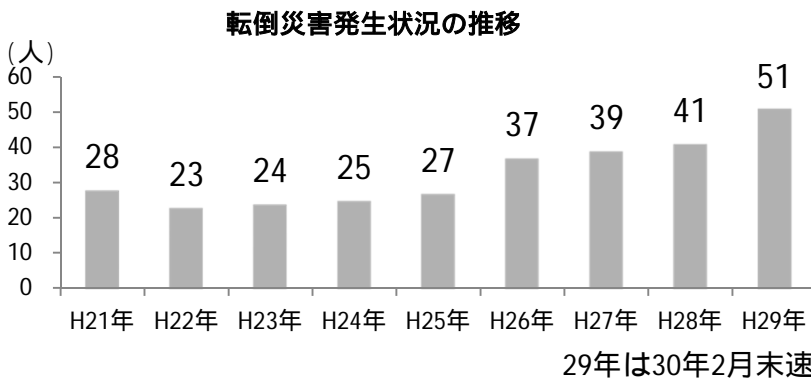


休業見込期間別  
(平成25～29年)

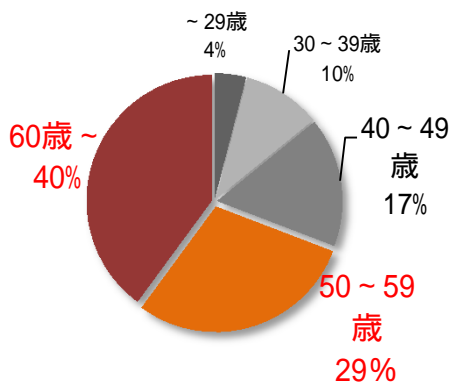


## 【社会福祉施設】

時間帯別（平成25年～29年）



年齢別  
(平成25～29年)



休業見込期間別  
(平成25～29年)

